参考資料１

【越谷市中小企業実態調査】

調査概要

１．調査目的

令和 5 年 3 月に策定した「越谷市中小企業振興計画」が、令和 9 年 3 月をもって終了いたします。令和 9 年度から令和 12 年度までを計画期間とする新たな計画を策定するにあたり、地域経済の基盤を支える中小企業者に対してアンケート調査を行うことにより、支援ニーズの把握を行い、計画策定の参考資料とすることを目的とする。

２．調査対象

（１）アンケート調査　越谷市内に本店等を有する事業者　３，０００者

※越谷市が保有するデータより産業分類等を考慮した上で無作為抽出した。

（２）ヒアリング調査　越谷市内に本店等を有する事業者　２０者

※越谷市の産業構造に基づき、対象業種を抽出した。

３．調査方法

（１）アンケート調査

郵送によるアンケート配付・回収及び越谷市電子申請・届出サービスによる回収

（２）ヒアリング調査

調査員による訪問調査

４．調査期間

（１）アンケート調査　令和８年７月２９日～８月２４日

（２）ヒアリング調査　令和８年８月２０日～９月１６日

５．回収結果

（１）アンケート調査　８６７件（回収率２８．９％）

（２）ヒアリング調査　２０件

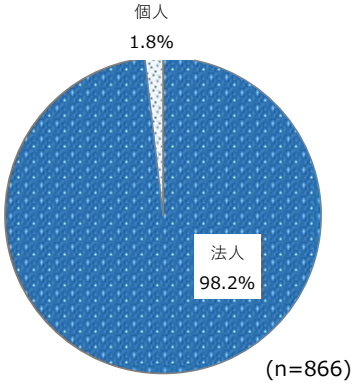
調査結果の概要

アンケート調査

１．事業所の概要

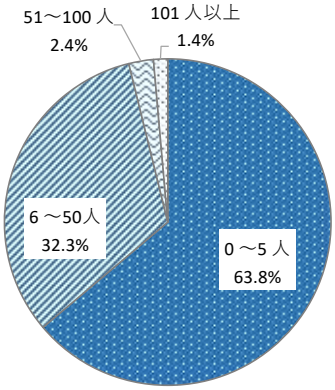
・組織形態としては法人が 98.2%、個人事業主が 1.8%となっている。
・従業員数は 5 人以下の事業者が 63.8%を占め、小規模な事業所が多くなっている。
・代表者年齢は、60 代以上が４割強を占めている。
・業種は、「卸売業、小売業」、「サービス業（他に分類されないもの）」、「建設業」、「医療・福祉」が比較的高くなっている。

◆組織形態



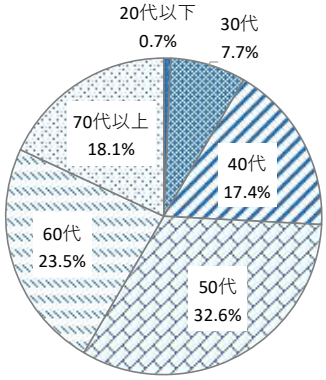
(n=866)

◆従業員数



(n=863)

◆代表者年齢



(n=852)

◆業種

業種	件数	%
農業、林業	4	0.5
漁業	0	0.0
鉱業、砕石業、砂利採取業	0	0.0
建設業	97	11.2
製造業	84	9.7
電気・ガス・熱供給・水道業	15	1.7
情報通信業	8	0.9
運輸業、郵便業	31	3.6
卸売業、小売業	156	18.0

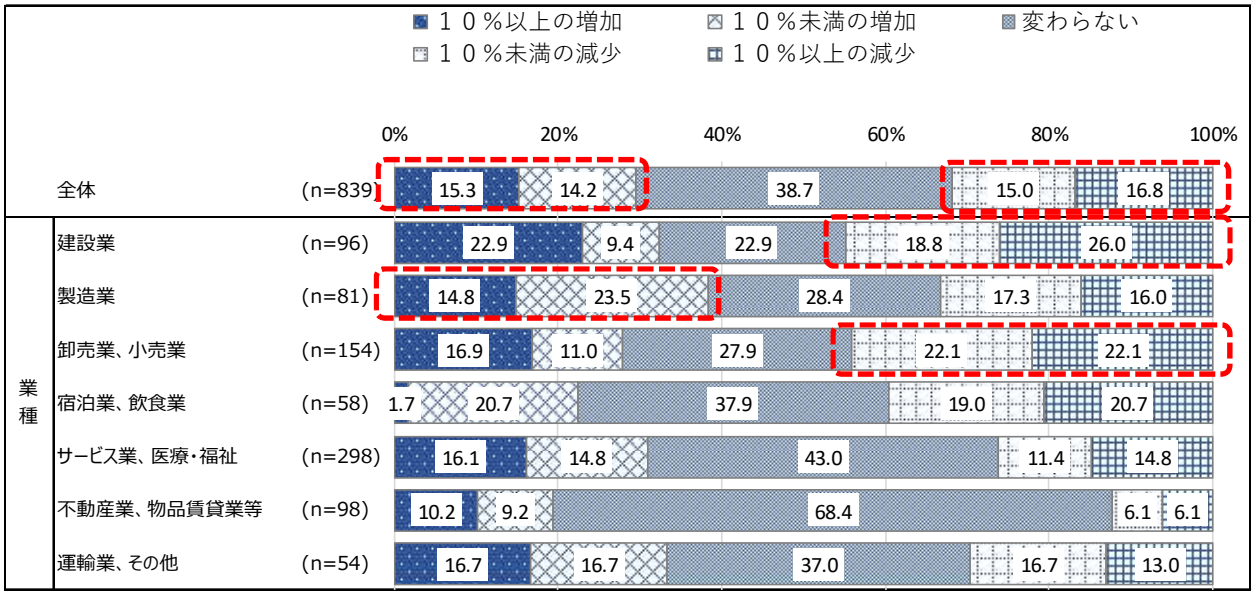
業種	件数	%
金融業、保険業	6	0.7
不動産業、物品賃貸業	65	7.5
学術研究、専門・技術サービス業	32	3.7
宿泊業、飲食サービス業	62	7.2
生活関連サービス業、娯楽業	50	5.8
教育、学習支援業	27	3.1
医療・福祉	89	10.3
複合サービス業	2	0.2
サービス業(他に分類されないもの)	139	16.0

２．事業所の状況について

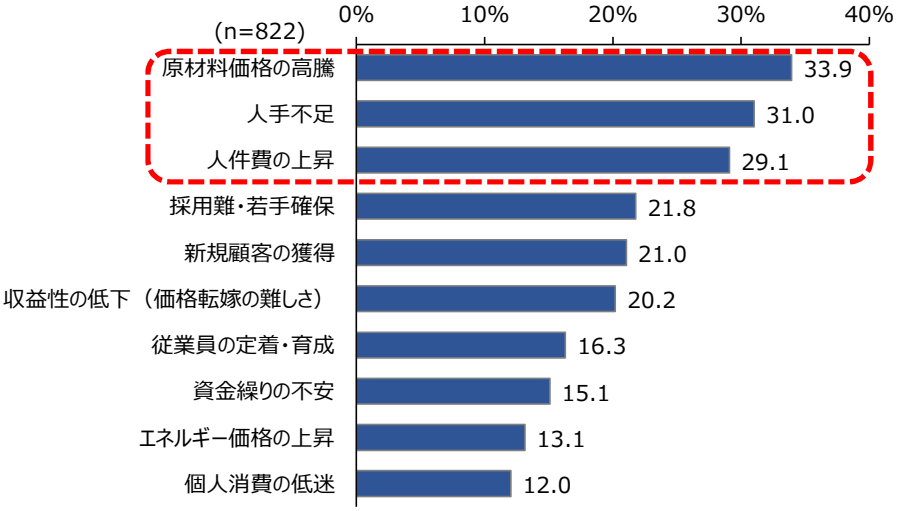
・売上高前期比は、「変わらない」が約４割、『増加』（「10%未満の増加」+「10%以上の増加」）、『減少』（「10%未満の減少」+「10%以上の減少」）はそれぞれ約３割となっている。特に『増加』は「製造業」が、『減少』は「建設業」、「卸売業、小売業」が比較的高くなっている。

・経営上の課題については、「原材料価格の高騰」、「人手不足」、「人件費の上昇」が約３割と高くなっている。

◆売上高前期比



◆経営上の課題（上位 10 項目抽出）



３．今後の新たな課題について

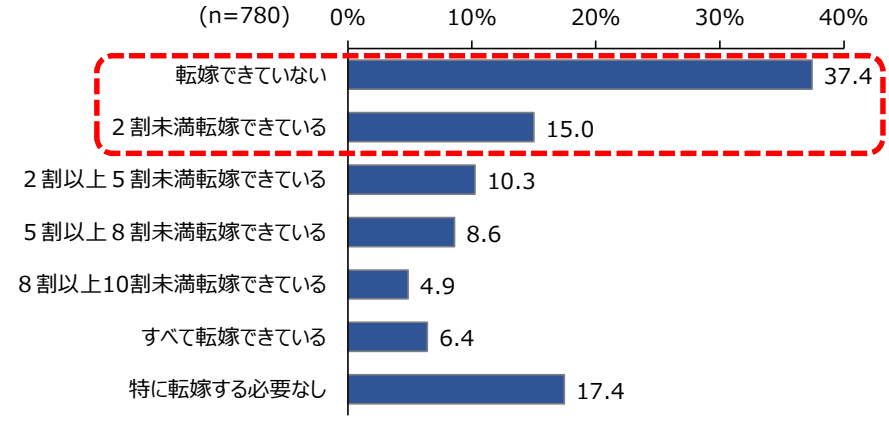
（１）原材料・仕入価格高騰について／中東情勢について

・原材料・仕入価格高騰による価格転嫁について、「価格転嫁できていない」、「２割未満転嫁できている」を合わせると、５割超となっている。

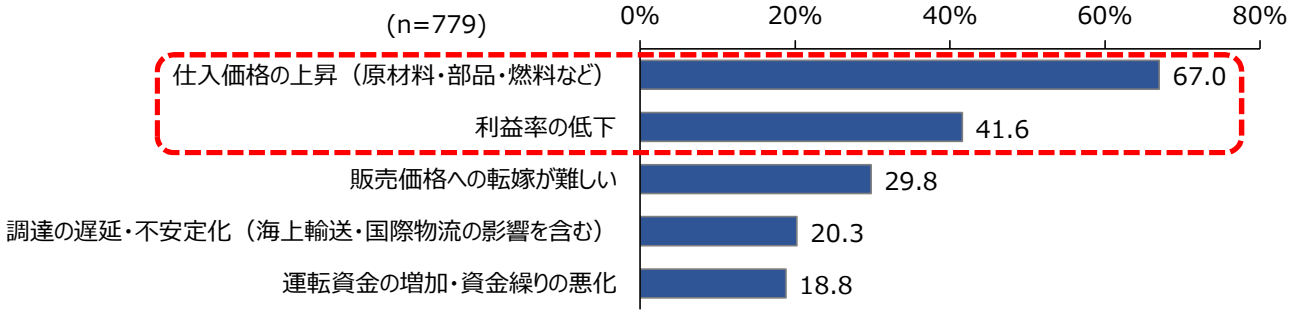
・原材料・仕入価格高騰や調達難の影響は、「仕入価格の上昇（原材料・部品・燃料など）」が７割弱、「利益率の低下」が４割超となっている。

・期待する支援は、「補助金・助成金などの資金支援」が最も高く、次いで、「調達・物流に関する情報提供」、「経営相談（専門家派遣など）」となっている。

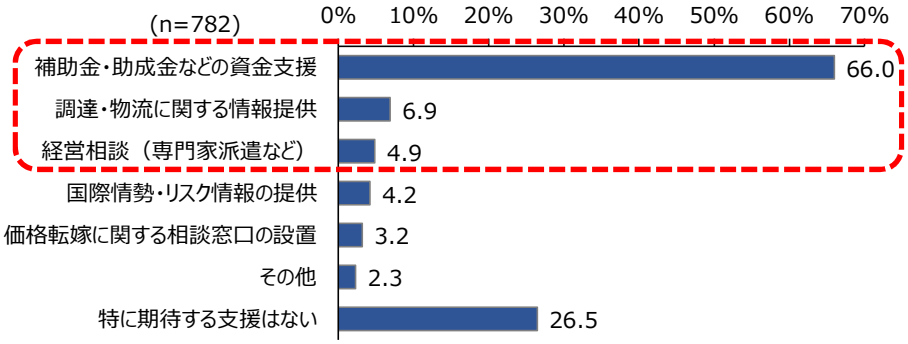
◆価格転嫁の状況



◆原材料・仕入価格高騰や調達難の影響（上位５項目抽出）



◆期待する支援



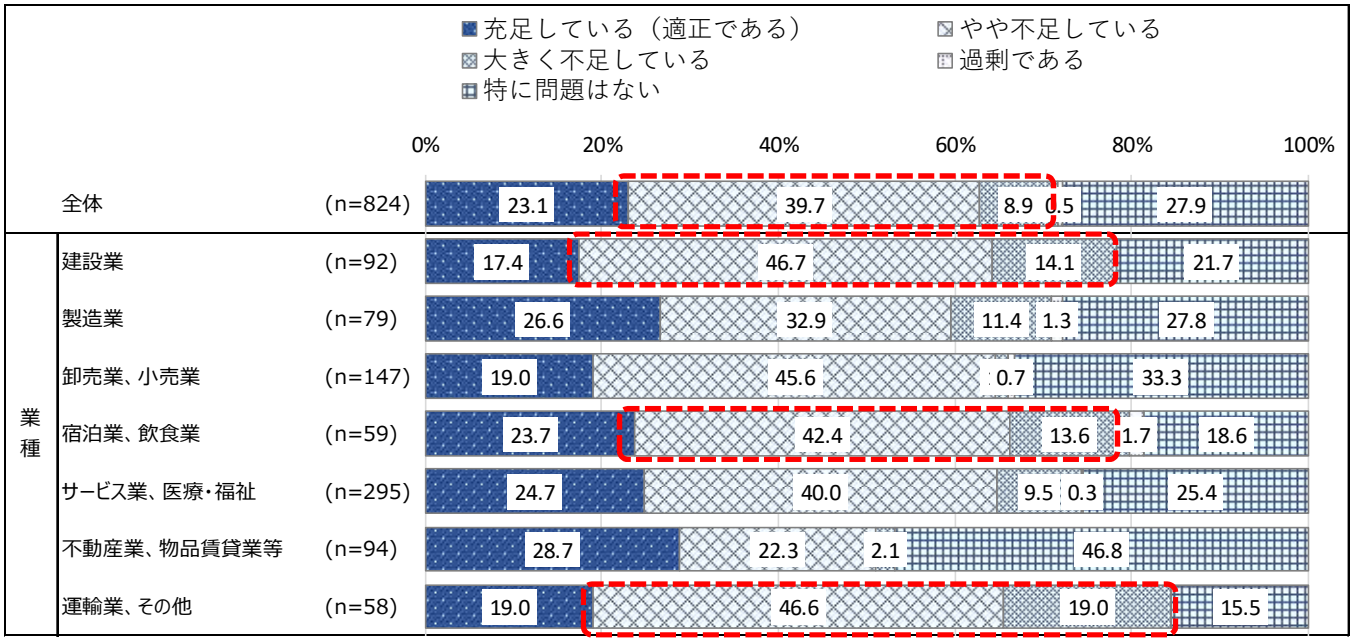
（2）雇用について

・『不足している』（「やや不足している」＋「大きく不足している」）が５割弱。業種別では、「運輸業、その他」、「建設業」、「宿泊業、飲食業」が比較的高くなっている。

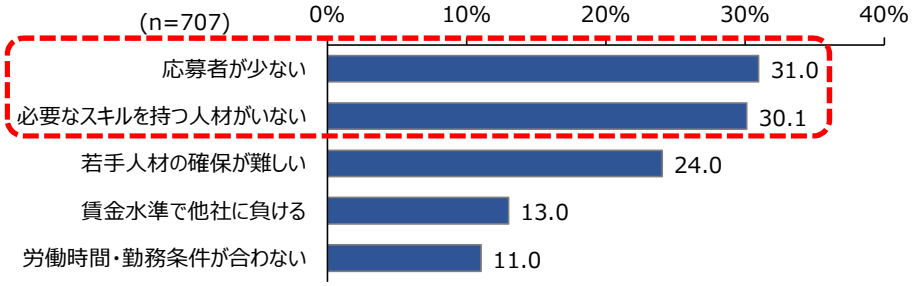
・人手不足の理由として、「応募者がいない」、「必要なスキルを持つ人材がいない」は３割超と高くなっている。

・人手不足による影響として、「既存従業員の負担増」が最も高く、次いで「受注機会の損失」、「新規事業への取り組みができない」、「生産性の低下」となっている。

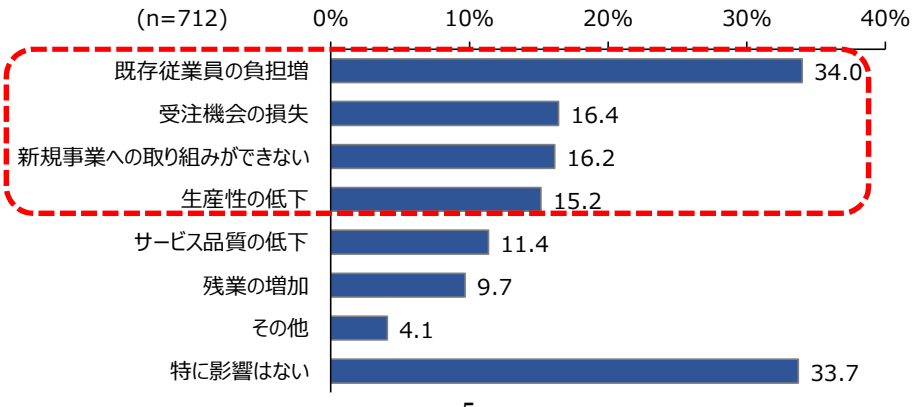
◆従業員数に状況



◆人手不足の理由（上位５項目抽出）



◆人手不足による影響

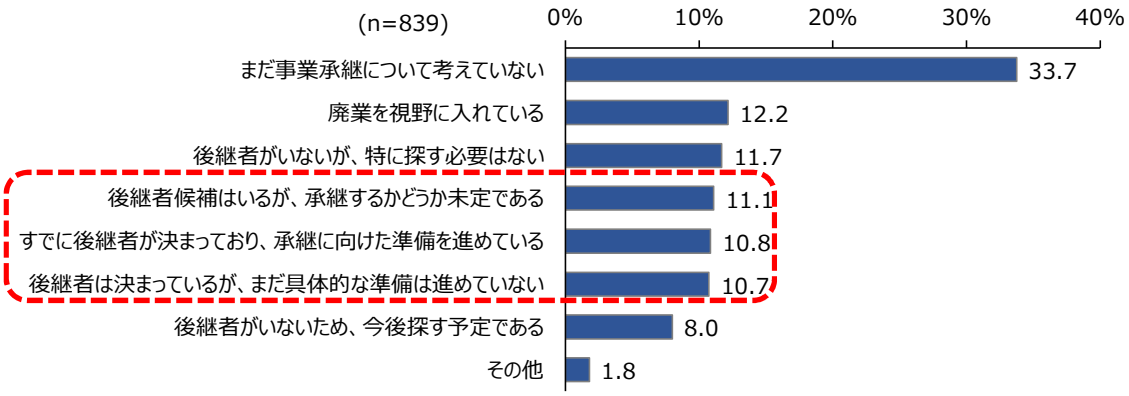


（３）事業承継について

・『後継者は決まっている』(「すでに後継者が決まっており、承継に向けた準備を進めている」＋「後継者は決まっているが、まだ具体的な準備は進めていない」）は 2 割程度、「後継候補者はいるが、継承するかどうか未定である」を合わせると 3 割超となっている。

・課題については、「経営者の高齢化・健康面の不安」が 2 割超、次いで、「資金面の不安（承継資金、更新設備など)」となっている。

◆事業承継について



◆事業承継の課題

